



目次

巻頭言	1
全連退事務局長会報告	1
全連退東海北陸地区協議会報告	1
県退職校長会「研修会」報告	1
地区退職校長会だより	2
生き生きライフ	2・3
学校支援・社会貢献に関するアンケート調査結果	4

題字	高橋由美子 (元 岡崎・山中小) 29年度入会
タイトル デザイン	野田光宏 (元 岡崎・竜海中) 27年度入会

亀ちゃん会

副会長

安東 要



私の住まいから歩いて十五分ほどのところに、「焼き鳥亀ちゃん」がある。そこに、毎月一回（不定期）、三々五々、集まって一杯やる会が「亀ちゃん会」である。かれこれ二十年近く続いている。すなわち、この店が開店した当時から、通い続けていることになる。

メンバーはその当時、私と後輩のN君から出発し、現在では、退職した教員、現役で教える子の教員、市役所職員、保育園職員、主婦らで、全部で八名になる。顔ぶれは多岐にわたっている。

会のモットーは、「来るものは拒まず、去るものは追わず」で、常時、集まるのは三〜四人ぐらい、全員が集まることはない。気が置けないメンバーで、たわいのない世間

話や時の話題、家族のことなど語り合い、楽しい時間を過している。カウンター席のみで、二十人も入れば満員である。

亀ちゃん会のある日は、夕方五時開店と同時に店に入り、席の確保をする。暇な私の役目だ。予約はなしで集まっているので席取りから、始まるのである。

時々、教える子の同僚の若い教員らと一緒に、現在の学校の様子や教育の現状に触れる話を聞かされた。私の頃と違って、子どもへの接し方や親への対応の難しさなど、考えさせられることが多い。

今時の教員の大変さを痛感する思いであり、仕事上の悩み等で早期に辞めていく若い教員がいるというのを聞くと、残念な思いで一杯になる。

店には常連さんが多い。よく一人で来られる高齢の元気な女性の方はいつも生ビール二杯と焼き鳥二〜三本を食べべて帰られる。

私もあの女性を見習って、長く酒と焼き鳥を嗜みたい。次回の亀ちゃん会が待ち遠しい。

酒飲みは 花なら蕾 今日もさけさけ 明日もさけ

全国連合退職校長会

事務局 会長報告

九月二十五日に、品川区立総合区民会館で、全連退事務局長会が開催された。会の冒頭に、昨年三月末に急逝された戸張敦雄前会長のご冥福を祈り黙祷を行った。全体会では、総会以後の本部（各部、各委員会等を含む）の活動状況について報告があった。午後からの分科会では、七グループに分かれて、情報交換及び課題検討会が行われた。ここで得られた他都道府県の情報を今後に生かしていきたい。

全連退 東海北陸地区

協議会 報告

十一月一日・二日、富山市で東海北陸地区協議会が開催され、本県からは大久保慎一会長と一宮登・江本隆副会長の三名が参加した。

協議では「組織の強化・活性化を指し、入会者の勧誘や促進について取り組んでいること」について、各県の実情をもとに成果と問題点が熱心に話し合われた。

情報交換では、「学校支援や地域支援の現状と課題」について、ニーズの把握方法や活動などをもとに、各県が力を入れて取り組んでいる状況が報告された。

県退職校長会

「研修会」報告

八月一日、愛知県小中学校長会松村光洋会長を講師にお招きし、県退職校長会役員を対象に「義務教育に関する今日的課題（話）題」と題したご講話をいただきました。

校長会として議論していかなくてはならない課題として、①給与や処遇、退職手当等不透明な部分の多い段階的な「定年延長」への課題、②多忙化解消プランや部活動ガイドラインを実効性の高いものとするための「教員の働き方改革」への課題、③特別支援教育に関わる教員の専門性向上のための「特別支援学校教諭等免許状の保有率の向上」への課題等を挙げられました。最後に、AKB48「365日の紙飛行機」を全員で唱い、研修会を終了しました。

今日的課題について語る
松村校長会長



熱心に聞き入る
参加者の皆さん

地区退職校長会だより

県内の各地区退職校長会からたよりをいただきました。互いの理解と親睦を深めるため、順次紹介していきます。

瀬戸市退職校長会

「瀬戸市退職校長会」は平成十一年に発足し、瀬戸市小中学校で校長として退職した者、または瀬戸市小中学校で勤務した経験のある他地域の退職校長及び瀬戸市に在住する退職校長で入会を希望する者で組織されています。現在の会員数は百二十八名です。

本会の目的は会員相互の親睦・連絡・情報交換を図ることと教育・文化の振興に寄与することであり、主な事業は毎年七月に開催する総会と懇親会です。

今年度は七月一日(日)に、六十一歳から九十五歳までの会員七十八人の参加のもとに第二十回総会が行われました。尾関峯雄新会長の挨拶に続いて、長寿のお祝いと新入会員十一名の紹介等があり、「喜寿」「米寿」を迎えられた方々の饗饌(かくしゃく)としたお姿、新入会員の皆様の柔らかな表情が印象的でした。

総会後には瀬戸市教育長の深見和博先生より、「瀬戸の教育の現状」について講演をいただきました。来年四月、

市の東部地区に開校する小中一貫校「にじの丘学園」の基本コンセプトや瀬戸市の新たな教育展望を拝聴し、本会の意義や校長経験者としての役割を改めて考える機会になりました。

市長、教育長を来賓に招いた懇親会は終始和やかな雰囲気が進められ、大勢の方々から余暇の過ごし方や生きがい等いろいろな話を伺い感銘を受けました。

(28年度入会 牛田和彦)



抗う

25年度入会 伊藤 邦彦
(元 清須・西枇杷島小)

退職してまもなく六年、肉体も脳みそも衰えていくのは仕方がない。しかし、その中で年相応に維持できるように抗っていききたい。

○肉体の衰えに抗う

肉体の衰えを感じるようになってから、近くのプールに通っている。退職とともに回

数が増えてきた。きちんとした指導は一度も受けたことはないが、いつのまにかゆつくりではあるが休むことなく三十分、距離にして千メートル泳ぐことができるようになった。

六十五歳を過ぎてからは、プールの利用料金が高齢者割引の適用で半額になった。年金生活者にとってはありがたいことである。

今日も千メートル泳いできた。途中私の横を七十代とおぼしき女性が追い越していった。

○脳みその衰えに抗う

若い頃から台所に立つことが好きだった。学生時代には中華料理屋で働いた。今ではスープの冷めない距離に住む娘夫婦、孫を含む六人分の夕食を作っている。

一日の予算は限られている。その中で二歳の孫から六十八歳の家内までみんなが満足してくれる料理を作ることは大変である。

料理のプロセスを試行錯誤することは、脳みそを活性化するだけでなく、レベルアップする効果もあるという。退職して時間のある今こそ、男子台所に立つことをお勧めする。

百歳人生、様々な衰えに、楽しみながら抗っていくことが大事なり。

星空観望

26年度入会 古崎 康夫
(元 西尾・荻原小)

高校生のころ、親に買ってもらった口径5cmの天体望遠鏡で月や惑星をよく見ていた。それもいつの間にか見ることもなくなり望遠鏡も処分し、もっぱら肉眼か小型の双眼鏡で星空を見ていた。

退職した時、ネットで偶然見つけた興和光学の対空双眼鏡を衝動買いしてしまった。届いた双眼鏡の口径八十二mmのフローライトレンズは想像以上に明るくクリアな像を見せてくれた。月のクレイターは影の部分が移り変わるところまでくつきり見えいつまで見ても見飽きない。木星は縞模様が数本見え、衛星食の丸い影に愛嬌がある。金星は月のように満ち欠けの様子がわかるし、見える大きさも変化する。土星の輪は定番である。

昨夏は火星の大接近があり、火星・木星・金星・土星と多くの惑星がぎやかで星空観望がとて楽しくできた。ただ、火星・金星や月も上弦を過ぎるとNDフィルターをつけないと明るすぎて見にくくなるのが玉に瑕である。

この冬も低倍率でプレアデスやヒアデスなど散開星団を

観察すると広い視野の中に金砂、銀砂をまき散らしたように美しい星空が見られた。

しばらく離れていた星空観望だがよい器材を手に入れた、また、楽しく星空を見上げることができるようになった。



愛用の光学機器
82mm対空双眼鏡
77mmスポッティング
スコープ
50mm小型双眼鏡

重要文化財の中で

26年度入会 高橋 登
(元 名古屋・白沢小)

名古屋市政資料館で専門調査員をして二年目になる。

丸いドームと赤いれんがの壁が特徴の市政資料館は大正十一年に建設された旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎である。昭和五十九年に指定された国の重要文化財である。今は名古屋市の公文書館として活用されている。

普段、私は資料館に届いた行政資料のデータベース作りをしているが、一番の仕事は夏休みに開催する「子ども企画展」を担当することである。

企画展の内容構成は展示と遊び体験の二つである。今年度の展示では「名古屋

市のうつりかわり」をテーマに、明治二十二年に名古屋市の誕生してから今に至るまでの



市政資料館の外観

様子を次の内容で紹介した。

豊田佐吉の自動織機が展示された第十回関西西府県連合共進会から世界デザイン博覧会までの四つの大きな博覧会を経て、ものづくりの礎を築き、デザイン都市へと発展してきた様子や戦後復興、国際交流、自然災害や環境問題等、主な出来事を取り上げた。

遊び体験では三英傑を素材にした双六や名古屋の風景を基にしたジグソーパズル等を自作して郷土色を出した。

今年も多くの人に見学してもらえ、とても嬉しく思えた。名古屋市の歴史を調べ、当時の写真や地図、絵はがき等、貴重な資料に触れることができた。歴史と文化の香るこの建物の中でとても良い経験をさせてもらえた。

セカンドライフ満喫

28年度入会 坪田 孝子
(元 豊明・双峰小)

退職して三年目になります。今、私がやっていることは、
①ピアノ教室（自宅で開催）

②エアロビクス
③英会話
④筆ペン習字
⑤ゴスペル
⑥乗馬
です。いずれも現役時代には、なかなか思うようにできなかったことです。

ピアノ教室は主に私の友人たちがきてくれて、レッスン後はお茶を飲みながらおしゃべりを楽しめます。ピアノ演奏とおしゃべりは、私たちの脳の活性化に非常に役立っています。エアロビクスと英会話は、なかなかうまくできませんが、できない自分に向き合うのも楽しいものです。乗馬は、大学の馬術部以来数十年ぶりなので体がいうことをきかず、十五分くらいでばててしまいます。それでもスポーツ少年団の子どもたちと関わるのが楽しくて、週一回岡崎まで通っています。



愛馬たち

退職後、身近な方が続けて亡くなり、自分も何があるか分からない、まず十年は自分のために楽しもうと思って海外旅行にも出かけ、アンコールワット、サグラダファミリアを訪れました。後はオーロラを見ることと

スイスのハイキングに行けたらと思っていますが、あと二年で満了しそうな気がします。そうしたら、今度は人の役に立つことができるような活動を、いろいろ探してみようつもりです。

旬のものを食べる

29年度入会 鈴木 直政
(元 名古屋・東桜小)

退職して一年半が経つ。時間に余裕ができたこともあり、家庭菜園を始めた。土いじりは、これまでも少しずつしていたが、できるだけ旬のものを食べようと一念発起したところである。

今は、大根と人参が随分育ってきていて、人参はもう食べられそうだし、大根ももう少しすると食卓に並ぶようになる。ブロッコリーも大きくなった。春先になるイチゴも楽しみである。

隣の家に住む九十歳を超えるおばあさんは、「初物を食べると長生きできる」と言うので、最初に収穫したもののは、隣の家におすそ分けで持っていくことになっている。

現職の時、「地面から生えているトマトって、食べられるの?」と言った子どもがいた。食べ物、育てるものではなく、買ってきて食べるものという環境の中で育っている

る子にとってはごく当たり前の疑問かなとも思うが、それでよいのかなと心に引っ掛かっている。

現代は、効率よく栽培をし、安全な作物を安定的に供給するために、最新の科学が駆使されていると聞く。これからの農業はさらに様変わりして、畑で作物を作ることは減っていくのだろう。現代の子どもは、作物の旬が分からないという。それも仕方ないと思いつつ、毎日水やりをしている。



畑になる大根

今の楽しみは獲れた大根でコンビニおでんよりおいしいおでんを作ること。獲れたての大根なら、インスタントの出汁でもきつとおいしいことだろう。

幼木との出会い

30年度入会 酒井 敬
(元 豊田・豊南中)

我が家の裏山には、氏神様につながる山道がある。数年前に、秋祭りの準備のため、久しぶりにその山道を通った。青空に映える紅葉し始めた木々を眺めながら歩いていると、ふと足元の楓の幼木が目にとまった。どうやら境内に

生えている楓から種が舞い落ちて、ここで芽吹いたのであろう。このままでは踏まれて枯れてしまうのではないかと、思い、家に持ち帰ることにした。

この幼木との出会いが、私の鉢植えの世界を広げてくれた。よくよく見ると、我が家の裏山には、楓や栂、山漆などの幼木がたくさん生えていた。そのいくつかを、ネットや本を参考に、見よう見まねで植木鉢に入れ、育ててきた。また、裏山にはヤマゴケやスギゴケなどの苔もある。苔を幼木に添えてみると、なかなか趣深い。道端にころがっている石ころも、拾ってきて幼木や苔に合わせてみると、いい味がでる。気が付けば我が家の庭には、小さな植木がいくつかの間に百鉢以上に増えていた。毎朝、水やりをしながら、芽吹きや紅葉の変化を楽しんでいる。

最近、骨董店やリサイクルショップがあると、ついつい立ち寄ってしまう。小さな鉢や受け皿を物色し、気に入った器を見つけては、どの子（幼木）を植木）を植え換えてやろうかと、にやにやしている。



色づき始めた楓の鉢植え

学校支援・社会貢献に関するアンケート調査結果

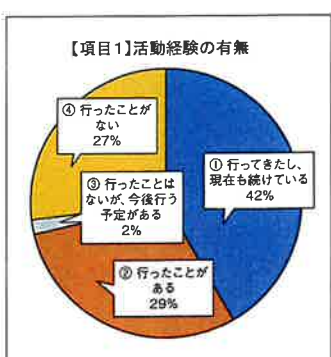
全国連合退職校長会では、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域の教育・文化の振興に寄与する活動を推進しています。本県においても退職後、学校・家庭・地域へのボランティア活動に多数の皆様が貢献しています。

今回、平成二十四年度に本会に入会された皆様を対象に、アンケート調査を実施し、次のような回答をいただきました。

【調査項目1】

「これまでに子ども・学校・地域等へのボランティア活動を行ったことがありますか。」

《結果》

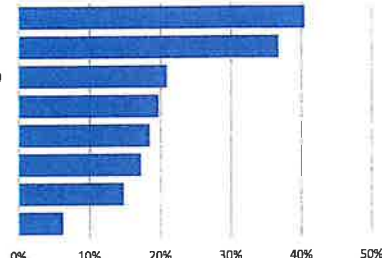


《考察》

○行った経験ある方が七十一%の高い割合を示し、退職後に「学校支援・地域貢献」を積極的にやっていることが分かりました。

【項目2】携わった活動

- 学校教育へのアドバイス(学校評議員等)
- 子どもの安心・安全(見守り隊等)
- 学習支援(読み聞かせ、学ぶ会、キャリア支援等)
- 家庭教育支援(家庭教育相談員等)
- 授業の補助・協力
- 不登校・日本語学級・学校行事等の補助
- 学校の環境整備(除草、図書館整備等)
- クラブ、部活動



《結果》

【調査項目2】
「これまでに携わった活動はどんなことですか。」(複数回答可)

○「行ったことがない」と答えた割合は二十七%でした。今後は、活動や実践の紹介等を充実させ、ボランティア活動の意義や生き甲斐のある生涯学習の実践について、さらに啓発していきたいものです。

《考察》

○学校評議員等のアドバイザリーが多く、退職後も自らの経験を生かして、学校教育への適切な助言を行ってまいります。

○子どもの安全・安心に関わる活動に参加しているケースも多く、家庭・地域との連携が強いことを示しています。○学校の環境整備、授業の補助・協力、さらには読み聞かせやキャリア教育などの学習支援等の活動も多く、多彩なボランティア活動となっています。

【調査項目3】

「これまでに学校や家庭、地域を支援する団体に所属したことのある方は、その名称をお答えください。」

《結果》

- ・ 適応指導教室
- ・ 安全パトロール隊
- ・ 学校運営協議会
- ・ コミュニティ推進協議会
- ・ 放課後子ども教室
- ・ 民生児童委員
- ・ 家庭教育コーディネーター
- ・ 地域学習支援事業講師
- ・ いじめ対策委員会
- ・ 子どもの家運営委員会
- ・ 地域支援学校本部講師
- ・ シルバー人材センター講師
- ・ NPO法人スタッフ
- ・ 町内会役員
- ・ など

《考察》

○退職校長は、多種多様な支

援団体に所属しています。自らの経験や知識を、未来を担う子どもたちの教育に生かしているばかりではなく、生涯学習の成果を体得する場にもなっています。

平成十八年に改正された教育基本法の制定以来、各地域で授業等の学習補助、部活動の指導補助、学校行事への支援、学校環境整備、登下校の見守り隊等、様々な形で学校を支援する活動が進められています。

また、平成二十七年十二月には、中央教育審議会において、地域社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」の推進が提起され、その活動を推進する新たな体制として「地域学校共同本部」の整備が提言されました。

本県においても「共に子どもを育て、共に地域を創造する」観点から、各地域で多様な取組が始まっていることが今回分かりました。

本調査結果を踏まえ、検討を加えながら、退職校長としてのボランティア活動の意義、効果等を啓発していきたいと思いま

す。



訃報 (内はご逝去された日)

神谷雅夫先生 (三十・五・二十五)

元 豊根村立富山小学校校長

今野博光先生 (三十・七・十二)

元 名古屋市立黄金中学校校長

大竹隆志先生 (三十・七・十九)

元 名古屋市立戸田小学校校長

平成三十年五月二十五日から十二月三十一日までにご逝去され、事務局に報告があった七年会員の方を掲載しました。

事務局だより

ご多用の中を、原稿の執筆にご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご協力により、予定どおり会報を発行することができました。

これからも、会員の皆様に喜んでいただける会報になるよう、努めてまいります。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

この度の会報三十九号は、学校支援・社会貢献に関するアンケート調査結果に紙面を多くとりましたので、会員交流広場(会員の作品紹介)は、お休みさせていただきます。ご了承ください。

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄二丁目
四九番一〇号

愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内

電 〇五二一六二一八八五二
FAX 〇五二一六二一六八〇七
E-mail: ai-kocho@axel.ocn.ne.jp